

就労継続支援A型事業所におけるスコア表（全体）

事業所名	日本社会福祉デザインセンター
住 所	富山市高田527
電話番号	076-411-7631

事業所番号	1610101329
管理者名	大平貴之
対象年度	令和5年度

(I) 労働時間

①1日の平均労働時間が7時間以上		40	点
②1日の平均労働時間が6時間以上7時間未満			
③1日の平均労働時間が5時間以上6時間未満			
④1日の平均労働時間が4時間30分以上5時間未満			
⑤1日の平均労働時間が4時間以上4時間30分未満	○		
⑥1日の平均労働時間が3時間以上4時間未満			
⑦1日の平均労働時間が2時間以上3時間未満			
⑧1日の平均労働時間が2時間未満			

①90点 ②80点 ③65点 ④55点 ⑤40点 ⑥30点 ⑦20点 ⑧5点

(II) 生産活動

①過去3年の生産活動収支がそれぞれ当該各年度に利用者に支払う賞金の総額以上		-20	点
②過去3年の生産活動収支のうち前年度及び前々年度の各年度における生産活動収支がそれぞれ当該各年度に利用者に支払う賞金の総額以上			
③過去3年の生産活動収支のうち前年度における生産活動収支のみが前年度に利用者に支払う賞金の総額以上			
④過去3年の生産活動収支のうち前々年度における生産活動収支のみが前々年度に利用者に支払う賞金の総額以上			
⑤過去3年の生産活動収支のうち前年度及び前々年度の各年度における生産活動収支がいずれも当該各年度に利用者に支払う賞金の総額未満			
⑥過去3年の生産活動収支がいずれも当該各年度に利用者に支払う賞金の総額未満	○		

①60点 ②50点 ③40点 ④20点 ⑤-10点 ⑥-20点

(III) 多様な働き方（※）

①免許・資格取得、検定の受検奨励に関する制度		15	点
就業規則等で定めている	○		
②利用者を職員として登用する制度			
就業規則等で定めている			
③在宅勤務に係る労働条件及び服務規律			
就業規則等で定めている	○		
④フレックスタイム制に係る労働条件			
就業規則等で定めている			
⑤短時間勤務に係る労働条件			
就業規則等で定めている	○		
⑥時差出勤制度に係る労働条件			
就業規則等で定めている			
⑦有給休暇の時間単位取得又は計画的付与制度			
就業規則等で定めている	○		
⑧傷病休暇等の取得に関する事項			
就業規則等で定めている	○		
小計（注1）	5		

（※）8項目の合計点に応じた点数 (注1) 5以上:15点、4~3:5点、2点以下:0点

(IV) 支援力向上（※）

①研修計画に基づいた外部研修会又は内部研修会		○	5
参加した職員が1人以上参加している			
②研修、学会等又は学会誌等において発表		○	3
1回以上の場合			
③視察・実習の実施又は受け入れ		○	3
いずれか一方のみの取組を行っている			
④販路拡大の商談会等への参加		○	3
1回以上の場合			
⑤職員の人事評価制度		○	5
人事評価結果に基づき定期的に昇給を判定する制度を設け、全ての職員に周知している			
⑥ピアサポーターの配置		○	10
ピアサポーターを職員として配置している			
⑦第三者評価		○	10
過去3年以内の福祉サービス第三者評価を受審しており、結果を公表している。			
⑧国際標準化規格が定めた規格等の認証等		○	10
都道府県知事が適当と認める国際標準化規格が定めた規格その他これに準ずるものの認証を受けている			
小計（注2）	3		

（※）8項目の合計点に応じた点数 (注2) 5以上:15点、4~3:5点、2点以下:0点

(V) 地域連携活動

地域の事業者と連携した付加価値の高い商品開発、企業や官公庁等での生産活動等地域社会と連携した活動を行い、その結果をインターネット等により公表している	○	10
--	---	----

1事例以上ある場合:10点

(VI) 経営改善計画

経営改善計画の提出を求められていない。または、経営改善計画の提出を求められているが、指定された期日までに提出している。	○	0
---	---	---

期限内に提出していない場合:-50点

(VII) 利用者の知識・能力向上

前年度において、就労継続支援A型事業所等が利用者の知識及び能力の向上に向けた支援を行い、当該支援の具体的な内容を記載した報告書を作成し、インターネットの利用その他の方法により公表している。	○	10
--	---	----

1事例以上ある場合:10点

項目	点数	5点	20点	30点	40点	55点	65点	80点	90点
労働時間	5点	20点	30点	40点	55点	65点	80点	90点	
生産活動	-20点	-10点	20点	40点	50点	60点			
多様な働き方	0点	5点	15点						
支援力向上	0点	5点	15点						
地域連携活動	0点	10点							
経営改善計画	0点	-50点							
利用者の知識・能力向上	0点	10点							

合計	60	点	/ 200点
----	----	---	--------

就労継続支援A型事業所におけるスコア表（実績Ⅰ～Ⅳ、Ⅵ）

(Ⅰ) 労働時間

前年度（5年度）					
雇用契約を締結していた全ての利用者における延べ労働時間	23,161	時間	雇用契約を締結していた延べ利用者数	5,242	人
			利用者の1日の平均労働時間数	4.41	時間

(Ⅱ) 生産活動

会計期間（1月～12月）					
前々年度（3年度）					
生産活動収入から経費を除いた額	838,082	円	利用者に支払った賃金総額	36,116,758	円
			収支	▲ 35,278,676	円
前々年度（4年度）					
生産活動収入から経費を除いた額	240,297	円	利用者に支払った賃金総額	34,500,322	円
			収支	▲ 34,260,025	円
前年度（5年度）					
生産活動収入から経費を除いた額	14,373,301	円	利用者に支払った賃金総額	23,666,718	円
			収支	▲ 9,293,417	円

(Ⅲ) 多様な働き方

前年度（5年度）における取組（全体表「(Ⅲ) 多様な働き方」の各項目において「就業規則等で定めている」と選択した場合に記載）

<p>①免許・資格取得、検定の受検奨励に関する制度</p> <p>◎免許・資格取得、検定の受検奨励に関する制度を定めている <input checked="" type="checkbox"/></p>	<p>②利用者を職員として登用する制度</p> <p>◎利用者を職員として登用する制度を定めている <input type="checkbox"/></p>	<p>③在宅勤務に係る労働条件及び服務規律</p> <p>在宅勤務に係る労働条件及び服務規律に関する制度を定めている <input checked="" type="checkbox"/></p>
<p>④フレックスタイム制に係る労働条件</p> <p>◎フレックスタイム制に係る労働条件を定めている <input type="checkbox"/></p>	<p>⑤短時間勤務に係る労働条件</p> <p>◎短時間勤務に係る労働条件を定めている <input checked="" type="checkbox"/></p>	<p>⑥時差出勤制度に係る労働条件</p> <p>◎時差出勤制度に係る労働条件を定めている <input type="checkbox"/></p>
<p>⑦有給休暇の時間単位取得又は計画的付与制度</p> <p>◎有給休暇の時間単位取得または、計画的付与制度を定めている <input checked="" type="checkbox"/></p>	<p>⑧傷病休暇等の取得に関する事項</p> <p>◎傷病休暇等の取得に関する事項を定めている <input checked="" type="checkbox"/></p>	

(Ⅳ) 支援力向上

前年度（5年度）における取組（全体表「(Ⅳ) 支援力向上」の各項目に取組あり選択とした場合に記載）

<p>①研修計画に基づいた外部研修会又は内部研修会</p> <p>◎研修計画を策定している <input checked="" type="checkbox"/></p> <p>◎外部研修、もしくは内部研修を1回以上実施している <input checked="" type="checkbox"/></p> <p>※研修名 工賃向上等全体研修 研修講師 株)大福 実施日・受講者数 4月6日 7人</p>	<p>②研修、学会等又は学会誌等において発表</p> <p>◎研修、学会等又は学会誌等において1回以上発表している <input type="checkbox"/></p> <p>※研修、学会等名 実施日 月 日 ※学会誌等名 掲載日 月 日 発表テーマ</p>	<p>③視察・実習の実施又は受け入れ</p> <p>◎先進的事業者の視察・実習の実施している もしくは、他の事業所の視察・実習を受け入れている <input type="checkbox"/></p> <p>※先進的事業者名 実施日/参加者数 月 日 人 ※他の事業所名 実施日/参加者数 月 日 人</p>
<p>④販路拡大の商談会等への参加</p> <p>◎販路拡大の商談会や展示会等へ1回以上参加している <input checked="" type="checkbox"/></p> <p>※商談会等名 展示会 主催者名 日本社会福祉デザインセンター 日時 10月2日から 内容 障害福祉×芸術文化×地域共生 デジタルアートと福祉の融合であらゆる人の生き方と夢をつなげるプロジェクト。</p>	<p>⑤職員の人事評価制度</p> <p>◎職員の人事評価制度を整備している <input checked="" type="checkbox"/></p> <p>◎当該人事評価制度を周知している <input checked="" type="checkbox"/></p> <p>人事評価制度の制定日 R 5年 4月 1日 人事評価制度の対象職員数 9名 うち昇給・昇格を行った者 0名 当該人事評価制度の周知方法 書面通知および個人面談</p>	<p>⑥ピアサポーターの配置</p> <p>◎ピアサポーターを配置している <input type="checkbox"/></p> <p>◎当該ピアサポーターは「障害者ピアサポーター研修」を受講している <input type="checkbox"/></p> <p>※配置期間 月 日～月 日 就業時間 職務内容</p>
<p>⑦第三者評価</p> <p>◎前年度末日から過去3年以内に福祉サービス第三者評価を受けている <input type="checkbox"/></p> <p>※評価を受けた日 月 日 第三者評価機関</p>	<p>⑧国際標準化規格が定めた規格等の認証等</p> <p>◎ISOが制定したマネジメント規格等の認証等を受けている <input type="checkbox"/></p> <p>※認証を受けた日 月 日 規格等の内容</p>	

(Ⅵ) 経営改善計画

◎指定権者である都道府県（指定都市・中核市）へ、経営改善計画書へ提出した。 <input checked="" type="checkbox"/>
※受理日 5年 10月 11日

各項目について適宜、実績がわかる情報を追加すること。

就労継続支援 A 型事業所における地域連携活動実施状況報告書

事業所名	日本社会福祉デザインセンター
住所	富山市高田527
電話番号	076-411-7631

事業所番号	1610101329
管理者名	大平貴之
対象年度	令和5年度

地域連携活動の概要

<活動内容>	<活動の様子>
<p>施設外就労。淀川ランドリー株式会社。 2023.4.1~2024.5.31 県内ホテルの枕カバー洗濯請負 工場にて製造ラインの行程管理 利用者数 14名</p>	
<p><目的> 障がい者の労働力による一般企業の生産性向上の実証実験 nsdcの利用者が時給以上の労働力を発揮するための課題改善。 企業にとって障害者が有効な労働力となることを証明する。 就労意欲の向上、社会的信用の形成、労働賃金向上。</p>	
<p><成果> 契約時の目標生産数一ヶ月7000枚 最終実績、一ヶ月9600枚 労働意欲、業務改善力、自信、実績のあらゆる面で 当初の目標を大きく超える成果を得ることができた。 一年以上の長期契約となったが、障害の症状悪化が見られた者は少なく 多くの利用者にとって得られたものが多い施設外就労となった。</p>	

連携先の企業等の意見または評価

目標生産数の達成は、障がい者雇用の将来性や労働力としての実績と信用の構築に大きな貢献をしたと評価できる。
安全性の面で懸念はあり、障害や個人の性格などによりとっさのヒヤリハット対策や、ルール徹底が課題となる。
施設側の目標設定や、業務改善力は当初の想定を超える実績を残しており今後の活躍にも十分に評価できる。
契約期間の満了により、期限をもって請負契約を終了するが、今後も何か提携できることがあれば候補先として前向きに検討したい。

連携先企業名	淀川	担当者名	小林
--------	----	------	----

就労継続支援 A 型事業所における利用者の知識・能力向上に係る実施状況報告書

事業所名	日本社会福祉デザインセンター	事業所番号	1610101329
住所	富山市高田527	管理者名	大平貴之
電話番号	076-411-7631	対象年度	令和5年度

利用者の知識・能力向上に係る実施概要

<p><活動内容></p> <p>淀川ランドリー株式会社 2023.4.1~2024.5.31 利用者数14名 請負契約、業務内容、業務場所、ルール、危険物、就労環境の説明 目標生産数に対する課題の抽出と全体ミーティングの実施 時間単位の労働イメージ定着訓練。生産数管理。改善目標の期限設定。</p> <p><目的></p> <p>労働生産性、請負契約の範囲や義務について理解する。 利用者の労働シフトを管理し、生産性が高くなるチーム編成を行う。 数字管理により、自分のチームに所属し、成果や実績を残すことで チームワークや信頼関係、仲間意識の向上を目指す。</p> <p><成果></p> <p>生産目標7000枚に対し、9000枚を超える実績を平均的に残せるようになった。 労働に自信を身につけたことで4~8時間の勤務を希望する者が現れた。 請負契約前よりも、施設の利用者同士のコミュニケーションが円滑に進み、目標に対し全体で取り組むという意識が芽生えた。</p>	<p><活動の様子></p>  
--	---

連携先の企業や事業所等の意見または評価

障がい者の労働力は、社会では低く見積もられており、障害福祉施設と企業の信用構築が長期契約の根幹になる。
実績や成果だけではなく、職場での安全管理に支障がでない労働力であるか？は工場など生産管理を行う企業では重要な契約条件になる。
社会経験の少なさや、反射的な行動を起こす可能性を否定できない障害者の社会的信用は、労働環境の安全性の管理面で不利に働く。
労災などへの知識や保険、生産物の保証など、障がい者の労働成果を担保するための企業間での事前協議や対策は請負契約には必須となる。
生産管理だけではなく、企業との信用構築や、施設との取引のデメリットを埋めるための対応策が求められる。

連携先企業（担当者）	大福
------------	----

利用者からの意見・評価

利用者同士のコミュニケーションが増えた。仲間としての意識が強くなった。利用者同士のコミュニケーションが増えた。
社会に出るときのマナーを習得した。体調のコントロールが上手くなった。環境の変化にどう適応するかを考えられるようになった。
個人レベルの意識の変化が見受けられる。やれば出来るんだという自信がついた。チームワークの大切さが身に染みた。
業務の責任を全て自身で背負わなくても良い精神的負担減への感謝。他の利用者とのコミュニケーションの円滑化に助けられた。
病気を持っていても稼げることが分かり、モチベーションが上がった。家族が応援してくれるようになった。